

英国立バンガー大学 アイルランド国立ダブリン大学トリニティカレッジ 語学研修プログラム



特徴1：英・アイルランド国立大学直属のプログラム

英国立バンガー大学およびアイルランド国立ダブリン大学トリニティカレッジ・ファウンデーションコース
教員による本格的かつアクティブな授業で多彩なプログラムを展開します。

特徴2：ホームステイで生きた英語を習得

日本人学生の受け入れ経験豊富なホストファミリーにホームステイすることで、リスニング力および日常会話のスキルを短時間で向上させることができます。

特徴3：豊富なフィールドトリップで英国の自然・文化を直接体験

フィールドトリップでは世界遺産の城をはじめ、美しい自然と建物に囲まれた街等を訪問します。また事前学習や現地での課題をこなすことにより、観光しながらも英語を学びます。



英国立バンガー大学 アイルランド国立ダブリン大学トリニティカレッジ 語学研修プログラム

英国は英語教育の最先端です。またこのプログラムを主催するバンガー大学日本研究所は、アイルランド国立ダブリン大学トリニティカレッジの教養学部（ファウンデーションコース）を併設しており、日本人学生に世界トップクラスの大学で通用する英語力を習得させるノウハウを持っています。日本人の英語学習の弱点を熟知した経験豊富な教員による多彩なプログラムで、短期間ながら充実した、かつインテンシブな語学研修ができます。

豊かな自然と数々の世界遺産に囲まれた学研都市バンガーで皆さんの英語力をブラッシュアップしてください。

バンガー市長
からのメッセージ



Bangor is a small, friendly City with a static population of 13,500 that is enhanced by a further 12,000 University students during the academic year. You will find our people to be warm and welcoming.

I am delighted to support the Institute of Japanese Studies in welcoming prospective students to our City of Bangor. I hope many of you will consider coming to study at Institute of Japanese Studies Study Abroad Programme and at our University. I can assure you that you will be very well looked after by the Institute of Japanese Studies and by your host families.

Jean Forsyth, 90th Mayor of Bangor

バンガーは定常人口 13,500 人、大学の学期中は 12,000 人の大学生によって人口が増える小規模な親しみのある街です。バンガーの市民がみなさんを温かく迎えてくださることに、きっと気づくでしょう。新しい学生を迎え入れる日本研究所をサポートできることを大変嬉しく思います。多くの学生が日本研究所の留学プログラムおよび私たちの大学で学ぶことを願っています。日本研究所やホストファミリーの皆さんが、親身になって尽力してくださることを、私はここに保証します。

第 90 代バンガー市長 Jean Forsyth

バンガー大学
学長からの
メッセージ



Bangor is situated in an area of outstanding natural beauty and there is a very special atmosphere in this student city. Bangor is a safe and friendly place to live. Crime rates are amongst the lowest in the UK. We are very proud that our teaching is rated 'outstanding' and among the best in the UK, and our own students consistently put us in the Top 10 for student satisfaction and that our Welfare and Student Services were recently shortlisted for a National Award for Outstanding Student Support. Our first foundation course was created especially for Japanese students, so we particularly welcome students who have attended the Institute of Japanese Studies Study Abroad Programme and then return to Bangor for their degree course.

Professor Edmund Burke, Vice-Chancellor

バンガーは壮大な美しい自然のある地域に位置しています。そして、そこにはまさに学生の街と言えるような非常に特別な雰囲気があります。バンガーは安全で親しみやすい街です。また、犯罪率においては英国内では最も低いといわれています。当大学の教育指導が、英国内において最優秀の評価を頂いたことを大変誇りに思っております。また、当在学学生から、例年、学生満足度において高い評価を受けており、バンガー大学は学生満足度英国トップ 10 に入っています。福祉と学生へのサービスでは最近、国内の賞において、最優秀学生サポート賞の最終候補にノミネートされました。バンガー大学における最初のファウンデーションコースは、日本人学生のために特別に設立されました。私たちは、日本研究所の留学プログラムに参加し、専門課程を学ぶためバンガーに戻ってくる学生を特に歓迎します。

学長 Edmund Burke

多彩な授業プログラム

※英国での語学研修プログラムは、バンガー市認定プログラムです。

英国の文化とマナー

バンガーについて

英国の生活の変遷

留学コース（希望者）

リスニング・発音

ライティング

Active English(会話)

専門特化プログラム※

バンガー大学よりオフィシャルスピーチ

フィールドトリップの観光地について

アフタヌーンティーについての学習と体験

ウェールズ語とウェールズの歴史

※「専門特化プログラム」は春期研修では行っておりません。

授業を担当する教員は、バンガー大学の他、ダブリン大学トリニティカレッジ・ファウンデーションコースの教員がそれぞれの専門分野を指導します。担当教員の豊富さは大学直属のプログラムならではのものであり、他の語学学校が行う語学研修では通常不可能なものとなっています。

約 2 週間という限られた期間に英語力を伸ばす授業だけでなく、フィールドトリップで訪問する観光地について英語で学びます。また、参加する高校に合わせて柔軟にプログラムを組むことが可能な点も大きな特徴です。例えば、理系分野に力を入れている高校向けには「理系プログラム」を提供し、バンガー大学海洋生物学部の訪問や大学教授による数学の特別授業を実施しています。さらに、海外大学への進学に興味がある方には希望制で「留学コース」を設けており、上級レベルの授業や大学施設・図書館の見学が体験できます。

時間割の例

※実施スケジュールをもとにした一例です。

年度・実施時期により、スケジュール(授業開始時間含む)や授業科目に変更がありますことをご了承ください。

※研修中、SA(留学コース)とNC(通常コース)に分かれて実施する日があります。

	AM	11:45 - 13:00	PM
Mon	10:00-10:45 レッスン 「ベンリン城について」	11:00-11:45 レッスン 「バンガーについて」	13:00-16:30 フィールドトリップ 「ベンリン城」
Tue	10:00-10:45 バンガー大学からのオフィシャル・スピーチ	11:00-11:45 フィールドトリップ バンガー大聖堂&博物館	13:00-17:00 専門特化プログラム
Wed	10:00-10:45 レッスン 「カナーボン城について」	11:00-11:45 レッスン 「ヒヤンディトゥノ(街)について」	13:00-16:30 フィールドトリップ 「カナーボン城」
Thu	10:00-17:00 フィールドトリップ 「アフタヌーンティー体験&ヒヤンディトゥノ(街)」		
Fri	10:00-11:45 SA(留学コース):バンガー大学図書館と Pontio(大学と市の複合センター)訪問	Lunch Time	13:00-16:30 SA(留学コース):上級レッスン
	10:00-10:45 NC(通常コース):レッスン 「コンウィ(街)&プラスマウワー(建物) について」	10:45-17:00 NC(通常コース):フィールドトリップ 「コンウィ(街)&プラスマウワー(建物)」	

質の高いホームステイ

このプログラムで滞在先となるホストファミリーは、長年日本人学生を迎えてきた経験豊富な家庭がほとんどで、温かく迎えてくださいます。週末にもファミリーと交流する時間があり、授業以上に英語でコミュニケーションを楽しむ貴重な機会となるでしょう。また、ホームステイ先は完全に英語環境のため、日常生活を通じて自然と英語力を身につけることができます。



期間中の生活について

期間中はホームステイ先から各自バスあるいは電車で通学します。交通機関もシンプルでわかりやすく、ホストファミリーもサポートしてくれるので安心して通学できます。

平日の昼食は各自で自由にとります。プログラムを実施する教室はバンガーの中心部にあり、容易にパンやその他の食べ物を購入したり、店の中で食べることが可能です。

このように通学や昼食の買い物等を自分ですること、英国で自らの力で生活しているという意識を持つことができ、英語力だけでなく精神面でも大きく成長することができます。



SNSのご案内



*研修先の様子、留学中の学生の様子等、最新情報を随時投稿しています。



*説明会等のご案内をさせていただきます。

※詳細については各高校の先生に相談の上、実施要項を参照ください。

今回の研修では、外国の方々と話す際の抵抗をなくすことが一番の目標でした。研修に参加する前に比べると、確実にその抵抗が減ったと感じていますが、研修中は話すことに少し躊躇してしまい、もう少し積極的に話せば良かったなど後悔しています。それでも、少し文法が間違っているにもかかわらず、現地の方々はゆっくり待って聞いてくださるので、参加する皆さんには、たくさん会話をして、思いっきり楽しんでほしいです。2週間はあっという間で、毎日が新しいことだらけでした。日本ではできない貴重な経験ができ、1秒1秒がとても充実していました。皆さんと出会えたことは一生忘れません。これは私の人生の宝物です！

この研修を通して、ホストファミリーと仲良くなれたことがとても嬉しかったです。一緒に公園で遊んだり、ピクニックや買い物をしたり、おいしい食事を楽しみながら、おもしろい話をたくさんしてくれたことが思い出に残っています。最初に比べると、英語が聞き取れるようになっていくのが分かり、会話も長く続けることができ、楽しかったです。一緒に研修に参加した他の学校の学生と仲良くなれたこともよかったです。何事も楽しむためには、積極的に行動することが大切だと改めて実感しました。

※ 新聞メディア（North Wales Chronicle）にも大きく取り上げられています。（写真は同紙公式 Web サイトより）



フィールドトリップ先

※過去の実施例です



【カナーボン城】

エドワード1世が1283年から48年もの歳月をかけて築いた中世のお城で、チャールズ国王が皇太子時の戴冠式を行ったお城としても知られています。世界遺産で「天空の城ラピュタ」のモデルにもなりました。お城はまるで迷路のようになっており、塔を上がってお城を一周することができます。タワーと呼ばれる、お城の一番高いところからはカナーボンの街並みや、海、山が一望できます。



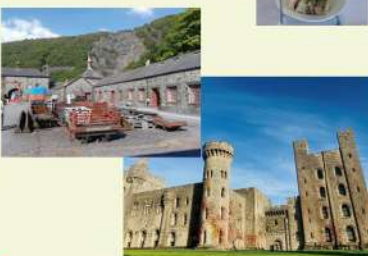
【コンウィ】

街全体が世界遺産に登録されています。エドワード1世によって造られたコンウィ城があり、2019年には姫路城と姉妹城提携を結び、日本との繋がりが深まりました。また、メインストリートには500年以上前に財や名誉を築いた権力者のお屋敷であるプラスマウワーがあります。建物内部は当時のまま保存されており、その時代の人々の生活を垣間見ることができます。



【ヒャンディドゥノ】

ビクトリア時代から続く保養地・ビーチリゾートで、海浜保養地の女王（Queen of resorts）と異名を持ち、白浜のビーチに沿ってパステルカラーのホテルや別荘が並んでいます。『不思議の国のアリス』の著者ルイス・キャロルがここで執筆活動をしました。そのため、街には登場人物のオブジェが点在しています。また、研修中には、ホテルやカフェで本場のアフタヌーンティーを味わいながら、英国ならではの文化と歴史を学んでいただけます。



【スレートとペンリン城】

スレートは、ウェールズで最も重要な産業の一つです。加工体験やスレートカット実演の見学ができるスレート博物館から望む、スレートの壮大な景観は、世界遺産に登録されています。またペンリン城は、北ウェールズのスレート産業を発達させたペンリン卿により建てられました。現在は、歴史的建築物の保護を目的とするボランティア団体「ナショナル・トラスト」によって管理されています。